

## 教育現場におけるSDGs達成のための取組みについて

### 1 背景

#### (1) SDGs<sup>1</sup>の目標4

すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。

4.7 2030年までに、**持続可能な開発のための教育**及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

#### (2) 小学校学習指導要領・中学校学習指導要領（平成29年3月公示）

【前文】これからの学校には、(中略)一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となることができるようにする**ことが求められる。

#### 【第1章総則】

第1 小学校(中学校)教育の基本と教育課程の役割

3 (前略)豊かな創造性を備え**持続可能な社会の創り手となることが期待される**児童(生徒)に、生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、…総合的な学習の時間及び特別活動…の指導を通して、どのような資質・能力の育成を目指すのか明確にしながら、教育活動の充実を図るものとする。

#### (3) 持続可能な開発のための教育(ESD<sup>2</sup>)

- ◆ 持続可能な社会づくりの担い手を育むため、現代社会における地球規模の諸課題を自らに関わる問題として主体的に捉え、その解決に向け自分で考え、行動する力を身に付けるとともに、新たな価値観や行動等の変容をもたらすための教育。
- ◆ 国際理解、環境、文化多様性、人権、平和等の個別分野を持続可能な開発の観点から統合した分野横断的な教育。



「ESD(持続可能な開発のための教育)推進の手引き」(平成30年5月改訂文部科学省国際統括官付き日本ユネスコ国内委員会)より

#### (4) ESDとSDGsの関わり

ESDは、持続可能な社会づくりの担い手の育成を通じ、SDGsのすべてのゴールの達成に寄与

<sup>1</sup> SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

<sup>2</sup> ESD: Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)

## 2 品川区立学校の取組

### (1) 教育課程への明確な位置付け（令和4年度分より予定）

- ・教育課程届（第2表）の指導の重点にESD(SDGs)の視点を加える。
- ・各教科の年間指導計画を立てる際に、SDGsの17の目標を意識させる。

### (2) 教員研修の実施

#### ア 市民科推進教師研修での講演会

実施日 平成30年4月19日

対象 各小・中・義務教育学校の市民科推進教師

講演 ①SDGsの概要について

講師 外務省国際協力局地球規模課題総括課担当者

②区内企業のCSRとSDGsの具体例について

講師 東京サラヤ株式会社 管理本部総務部CSR推進課担当者

#### イ 年1回のSDGs教員研修を実施

(令和3年度)

実施日 令和3年10月7日（オンライン開催）

対象 各小・中・義務教育学校の教員1名ずつ

講義 「SDGsについての理解 ～学習指導要領の改訂を踏まえて～」

講師 ESD・SDGsを推進する手島利夫の研究室 手島 利夫 氏

### (3) 市民科学習での学習（第8・9学年）

#### ア 単元3「社会現象と自分」

ねらい：現代の社会が向かっている方向を知り、これからの社会の変化への対応の仕方と生き方を探ることができる。

- ・新聞等から現代社会における課題について気付く。
- ・SDGsを参考に、環境問題などの課題について出し合う。
- ・SDGsと自分の生活と関連付けて考え、話し合う。

#### イ 単元18「国際社会への貢献」

ねらい：国際社会の様々な問題について理解し、国際社会への貢献について自分の考えをもち、行動することができる。

- ・国際社会の諸問題やその支援活動について知る。
- ・国際社会に貢献することの大切さについて理解する。
- ・国際貢献として、フェアトレードやSDGsについて調べる。
- ・国際社会への貢献やSDGsの実践を振り返り、課題を考える。

#### (4) 学校の取組（例）

##### <山中小学校>

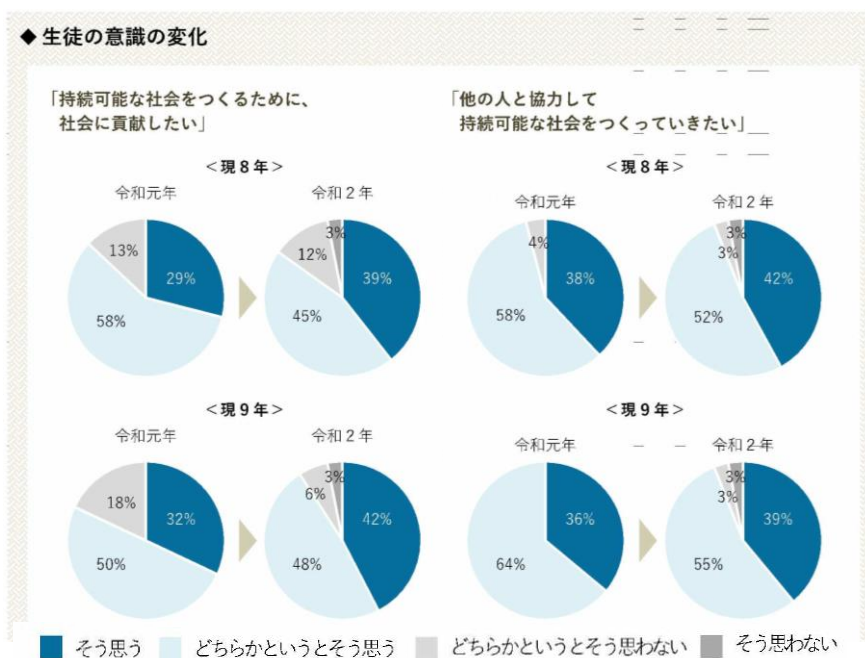
- ・学校全体でSDGsについて学んでいる。朝礼の校長講話では、定期的にSDGsについての話題に触れ、児童に考えさせるきっかけを与えている。
- ・山中おやこエコクラブニュースを毎月発行し、「SDGsにとりくもう！」と題し、環境教育を中心に、一人一人の意識を高め取組を促している。
- ・バイオガス製造出前講座を実施している。（講師：東北大学 多田千佳 准教授）



「山中おやこエコクラブニュース 10月号」より

##### <富士見台中学校>

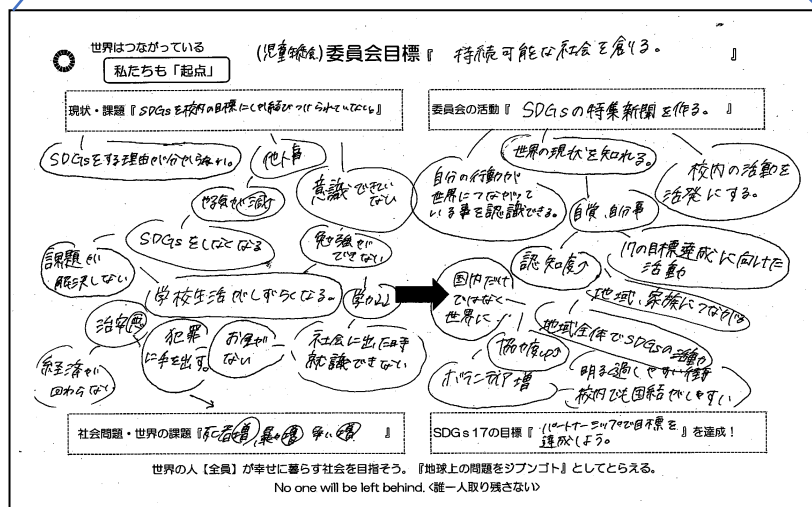
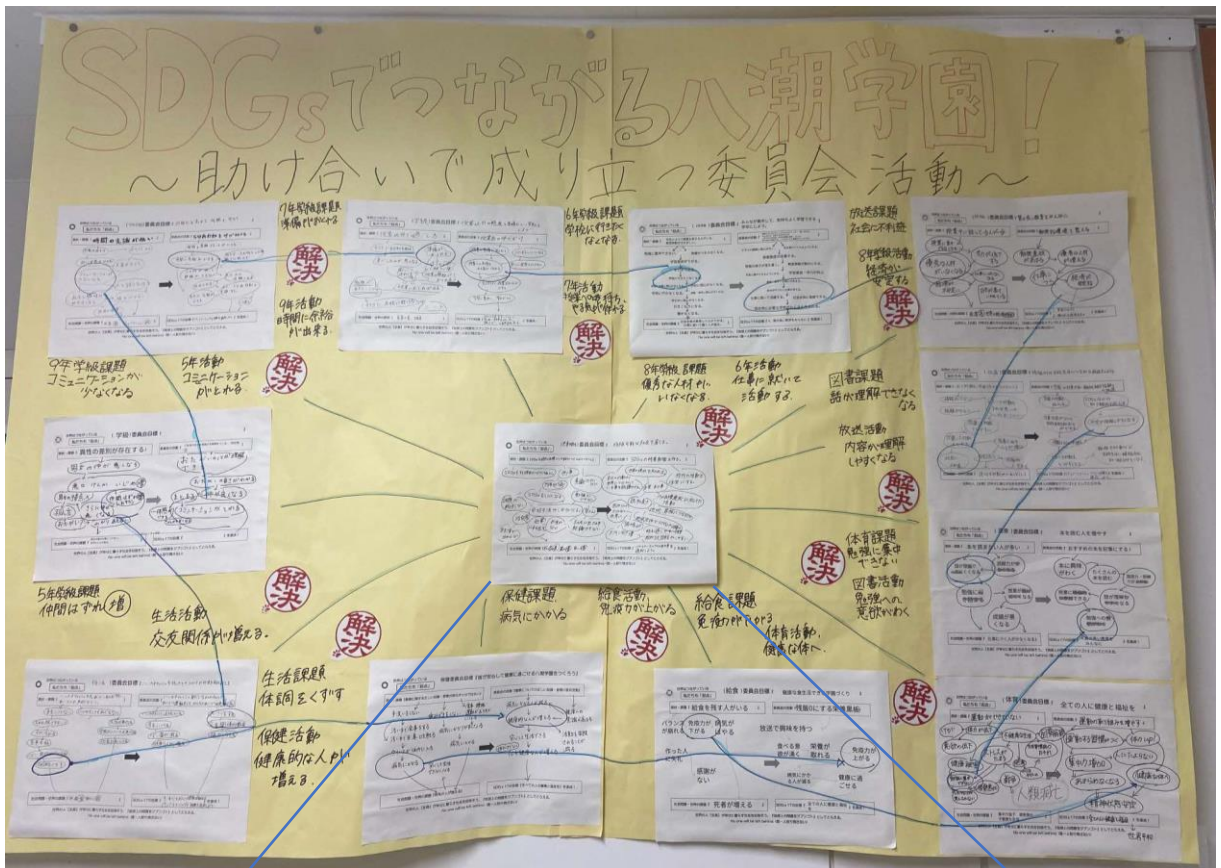
- ・令和元・2年度 東京都教育委員会持続可能な社会づくりに向けた教育推進校
- ・ESDの視点に立った学習指導の実施、教科横断的にSDGsを題材とした問題解決型学習の創設、外部人材や地域資源等の活用
- ・各教員が授業の指導計画を立てる際に、SDGsとの関連を明確に記し、SDGsを意識した授業展開を行った。



令和元・2年度 持続可能な社会づくりに向けた教育推進校 研究発表リーフレットより

## <八潮学園>

- ・児童生徒会の各種委員会の目標をSDGsに関連付けて考えている。  
例) 9年学級委員会 SDGs「17. パートナリシップで目標を達成しよう」  
保健委員会 SDGs「3. すべての人に健康と福祉を」  
図書委員会 SDGs「4. 質の高い教育をみんなに」
- ・児童生徒会が全校朝礼にて、牛乳パックのリサイクルについてSDGsと関連付けて発表。これにより、全校児童・生徒のSDGsの認知度が上がった。
- ・生徒会新聞や委員会の活動内容を掲示して、児童・生徒全員がSDGsを意識した取組を行うよう工夫している。



掲示物「SDGs でつながる八潮学園～助け合いで成り立つ委員会活動」